

第 1 部

第 1 章 2023 年度 関東支部神奈川ブロック総会

1.1	神奈川ブロック長あいさつ.....	1-1
1.2	お祝いの言葉 神奈川県知事 黒岩 祐治.....	1-2
1.3	第 30 期（2023 年度）神奈川ブロック商議員.....	1-3
1.4	第 30 期（2023 年度）神奈川ブロック幹事会委員.....	1-4
1.5	事業報告および事業計画（2023 年度中間報告・計画）	1-5
1.6	行事概要および報告	
	(1) 小中学生工作教室「スターリングエンジンの製作」	1-6
	(2) 第 27 回神奈川フォーラム「宇宙ビジネスを支える最新技術の動向」	1-9
	(3) 学生会企画「日産自動車横浜工場見学会および技術講演会」	1-11
1.7	第 30 期（2023 年度）神奈川ブロック表彰.....	1-14



神奈川ブロック創設 30 周年に寄せて

第 29・30 期ブロック長 麓 耕二（青山学院大学 教授）

本日は、一般社団法人日本機械学会関東支部神奈川ブロック第 30 期総会、ならびに第 34 回神奈川県産学官交流会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。また、皆様には日頃、神奈川ブロックの各種行事にご協力いただき心より感謝申し上げます。現在、神奈川ブロックに所属する学会員は学生会員を含めて約 3,800 名となっており、日本機械学会の全会員数（32,000 名）の約 1 割強の会員が在籍しております。神奈川ブロックの会員内訳は、県内に所在する大学関係者（学生員を含む）、県内の製造業をはじめとする各種企業の方々、さらに神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)を含む公的機関の方々で構成されています。

神奈川ブロックは、今年で創設 30 年を迎えました。これを記念して神奈川ブロック総会ならびに産学官交流会を横浜ベイシェラトンホテル&タワーズにおいて開催する運びとなりました。神奈川ブロック総会は、当ブロックが年間を通して実施した各種行事の総括と次年度に向けた報告を行い、広く学会員の皆さまに学会行事について周知することを目的としています。また産学官交流会は時代の状況に応じたテーマを掲げ、産業界の先端技術の紹介、学術的視点、および国と地方自治体の動向について講演とパネルディスカッションを通して複合的な観点から議論することを目的としております。今年の産学官交流会のテーマは「自動車業界の変革：自動化・EV 化の技術がもたらす社会的転換」となっています。なお神奈川ブロックでは、産学官交流会の他にも最新のトピックをテーマに掲げ、意見交換・討論を行う「神奈川フォーラム」、神奈川県内の先端技術を紹介する「企業見学会」、大学生・大学院生と企業若手研究者との相互交流を目的とした「若手の工場見学会」、および小中高生を対象とした「工作教室」等を開催し、機械工学の分野が果たす役割や、ものづくりの重要性を伝える活動を続けております。またこれまで、多くの行事が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて参りましたが、今年は 3 年振りに全ての行事が対面形式で開催することができました。これら神奈川ブロックにおける各種行事の企画・実施には、ブロック運営委員および神奈川ブロックの商議員のご尽力によるものです。また各種行事が盛況に開催できましたのは、ご参加いただいた機械学会会員各位のご支援とご協力によるものです。関係各位に深く感謝申し上げます。

結びとして、これまで同様、神奈川ブロックの活動がさらに活性化し、持続的に発展することで学会員の皆様、さらに機械工学の分野が果たす役割を一般の方々にお伝えできるよう、一丸となって邁進して参ります。今後とも日本機械学会神奈川ブロックの活動にご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

お祝いの言葉



神奈川県知事
馬場祐治

一般社団法人日本機械学会関東支部神奈川ブロックが創立30周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

皆様には、機械関連技術に携わる専門家として、県内企業の技術力向上、更には本県産業の発展に貢献していただいております、その長年にわたる御尽力に深く敬意を表します。

近年、少子高齢化に伴う国内の労働力不足は、経済活動のみならず社会生活にも影響を与える大きな課題となっており、就業者の確保と生産性の向上の両輪で取り組んでいく必要があります。

まず、就業者の確保に向けては、様々な分野における専門人材の育成が不可欠です。皆様方が継続的に取り組んでこられた学生教育・技術者教育等の活動は、その礎となるものです。引き続き、積極的な取組を展開していただくことを大いに期待しています。

さらに、生産性の向上については、幅広い業種において、機械化・自動化はもとより、デジタル技術の活用を進めていくことが重要です。こうした取組についても、皆様の知識や技術が不可欠であり、貴学会の役割が、ますます大きくなっていくものと考えています。

県では、県立産業技術総合研究所における中小企業の技術者に対する技術研修等を通じた人材育成や、「さがみロボット産業特区」を活用した生活支援ロボットの実用化・普及等により、労働力不足に係る課題解決に取り組んでまいります。

会員の皆様は、企業、大学、公的研究機関等、様々なフィールドで活躍されています。そうした皆様による産学公連携の取組は、経済活動を進め、県内産業を活性化させる上で、大きな力であると考えています。社会が大きな転換点を迎えている今、本県経済を更に発展させていくため、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、日本機械学会関東支部神奈川ブロックの更なる御発展と、皆様のますますの御活躍を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

日本機械学会 関東支部
第30期 神奈川ブロック商議員

[☆：ブロック長]

No.	氏名	勤務先	職名
1	池田 裕一	湘南工科大学 機械工学科	准教授
2	池田 拓士	(株)荏原製作所 技術・研究開発部・知的財産統括部 技術・研究開発部 流体・熱研究課	
3	板橋 遊	(株)IHI 技術開発本部 技術基盤センター 材料・構造グループ	副主任研究員
4	一柳 隆義	防衛大学校 機械システム工学科	教授
5	伊東 健	三菱電機株式会社 鎌倉製作所 宇宙システム部 技術第四課	課長
6	伊東 圭昌	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所 事業化支援部	連携支援 コーディネーター
7	内山 光夫	関東学院大学 理工学部 理工学科 機械学系	教授
8	梅津 宏紀	(一財)電力中央研究所 エネルギー変換システム研究本部 プラントシステム研究部門	主任研究員
9	大嶋 俊一	日本精工(株) 技術開発本部 コア技術研究開発センター	エグゼクティブ・ チーフエンジニア
10	太田 裕貴	横浜国立大学 大学院工学研究院 システム創生部門	准教授
11	加藤 英晃	東海大学工学部機械システム工学科	准教授
12	澤野 宏	明治大学 理工学部 機械工学科	准教授
13	渋川 直紀	東芝エネルギーシステムズ(株) エネルギーシステム技術開発センター	シニアフェロー
14	菅沼 直孝	東芝エネルギーシステムズ(株) エネルギーシステム技術開発センター 機械技術開発部 機構技術グループ	マネージャー
15	菅原 佳城	青山学院大学 理工学部 機械創造工学科	教授
16	杉浦 壽彦	慶応義塾大学理工学部機械工学科	教授
17	堤 大輔	(株)日立製作所 研究開発グループ 制御・ロボティクスイノベーションセンタ 産業オートメーション研究部	主任研究員
18	富永 圭一	富士電機(株) 川崎工場 電機設計部 回転機設計3課	課長
19	中根 一朗	神奈川工科大学 工学部 機械工学科	准教授
20	中村 陽一	(株)荏原製作所 建築・産業カンパニー 開発統括部 技術開発部	流体技術課長
21	南部 俊和	日産自動車(株)	エキスパートリーダー
22	野々下 知泰	ネポン(株)	技術フェロー
23	中村 元	防衛大学校システム工学群機械工学科	教授
24	久野 勝美	(株)東芝 生産技術センター	技監
25	☆ 麓 耕二	青山学院大学 理工学部 機械創造工学科	教授
26	三矢 輝章	東京情報デザイン専門職大学	教授
27	宮永 宜典	関東学院大学 理工学部 理工学科 機械学系	准教授
28	村田 良美	明治大学 理工学部 機械工学科	准教授
29	村野 健一	JFEエンジニアリング(株) 社会インフラ本部 ロジスティクス事業部	経営スタッフ
30	山崎 徹	神奈川大学 工学部 機械工学科	教授
31	横井 健	株式会社いすゞ 中央研究所 研究第二部	主席研究員

50音順, 敬称略

日本機械学会 関東支部
2023年度(第30期) 神奈川ブロック幹事会委員

氏名	勤務先	職名
池田 裕一	湘南工科大学 機械工学科	准教授
池田 拓士	(株)荏原製作所 技術・研究開発部・知的財産統括部 技術・研究開発部 流体・熱研究課	
石田 祥子	明治大学 理工学部 機械工学科	准教授
板橋 遊	(株)IHI 技術開発本部 技術基盤センター 材料・構造グループ	副主任研究員
一柳 隆義	防衛大学校 機械システム工学科	教授
伊東 健	三菱電機株式会社 鎌倉製作所 宇宙システム部 技術第四課	課長
伊東 圭昌	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所 事業化支援部	連携支援 コーディネーター
植平 将嵩	(株)リコー 先端技術研究所 樹脂マーケティングPT	係長
内山 光夫	関東学院大学 理工学部 理工学科 機械学系	教授
梅津 宏紀	(一財)電力中央研究所 エネルギー変換システム研究本部 プラントシステム研究部門	主任研究員
大嶋 俊一	日本精工(株) 技術開発本部 コア技術研究開発センター	エグゼクティブ・ チーフエンジニア
太田 裕貴	横浜国立大学 大学院工学研究院 システム創生部門	准教授
加藤 英晃	東海大学工学部機械システム工学科	准教授
川島 豪	神奈川工科大学 工学部 機械工学科	教授
楠山 純平	神奈川大学 工学部 機械工学科	特別助教
澤野 宏	明治大学 理工学部 機械工学科	准教授
渋川 直紀	東芝エネルギーシステムズ(株) エネルギーシステム技術開発センター	シニアフェロー
菅沼 直孝	東芝エネルギーシステムズ(株) エネルギーシステム技術開発センター 機械技術開発部 機構技術グループ	マネージャー
菅原 佳城	青山学院大学 理工学部 機械創造工学科	教授
杉浦 壽彦	慶応義塾大学理工学部機械工学科	教授
高橋 英俊	慶応義塾大学理工学部機械工学科	専任講師
堤 大輔	(株)日立製作所 研究開発グループ 制御・ロボティクスイノベーションセンタ 産業オートメーション研究部	主任研究員
富永 圭一	富士電機(株) 川崎工場 電機設計部 回転機設計3課	課長
中根 一朗	神奈川工科大学 工学部 機械工学科	准教授
中村 陽一	(株)荏原製作所 建築・産業カンパニー 開発統括部 技術開発部	流体技術課長
南部 俊和	日産自動車(株)	エキスパートリーダー
野々下 知泰	ネポン(株)	技術フェロー
中村 元	防衛大学校システム工学群機械工学科	教授
久野 勝美	(株)東芝 生産技術センター	技監
麓 耕二	青山学院大学 理工学部 機械創造工学科	教授
堀田 智哉	関東学院大学 理工学部 機械学系	専任講師
三矢 輝章	東京情報デザイン専門職大学	教授
宮永 宜典	関東学院大学 理工学部 理工学科 機械学系	准教授
村田 良美	明治大学 理工学部 機械工学科	准教授
村野 健一	JFEエンジニアリング(株) 社会インフラ本部 ロジスティクス事業部 機械システム技術部	経営スタッフ

**日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック
第30期(2023年度)中間事業報告書**

〔 自 : 2023年3月1日 至 : 2023年10月31日 〕

開催年月日	会議・行事名	形態※	会場	内容(行事の場合は講演テーマ・講演数)	参加者数
2023/3/24	第1回幹事会	主催	オンライン	運営メンバの引継ぎ, 事業説明など	26
2023/6/22	第2回幹事会	主催	オンライン	企画事業の進捗報告など	21
2023/8/2	第1回小中学生工作教室	主催	青山学院大学 相模原キャンパス	スターリングエンジンの製作	16
2023/8/6	第2回小中学生工作教室	主催	川崎市産業振興会館 12階会議室	スターリングエンジンの製作	54
2023/8/8	第3回幹事会	主催	神奈川県立 産業技術総合研究所	企画事業の進捗報告など	21
2023/8/8	第27回神奈川フォーラム	主催	神奈川県立 産業技術総合研究所	「宇宙ビジネスを支える最新技術の動向」 講演数:6件	33
2023/8/8	テクニカルショウヨコハマセミナー に向けた打ち合わせ	主催	神奈川県立 産業技術総合研究所	テクニカルショウヨコハマのセミナー(後援) におけるに関する関係者の顔合わせと打ち合わせ	25
2023/8/9	第3回小中学生工作教室	主催	関東学院大学 金沢八景キャンパス	スターリングエンジンの製作	25
2023/9/7	学生会企画 見学会	主催	日産自動車 横浜工場	「日産自動車横浜工場見学会 および技術講演会」	17

2023.11.1～2024.2.29予定

2023/11/17	第4回幹事会	主催	横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ	企画事業の進捗報告など	
2023/11/17	30周年記念総会および 産学官交流会	主催	横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ	「自動車業界の変革:自動化・EV化の 技術がもたらす社会的転換(案)」	
2023/12	企業見学会	主催	未定	未定	
2024/2/9	テクニカルショウヨコハマ 2024 セミナープログラム	後援	パシフィコ横浜	未定	

(一社)日本機械学会関東支部神奈川ブロック
「小中学生工作教室」
～スターリングエンジンの製作～
第1回 実施報告書

- 【企画】 (主催) (一社)日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック
- 【開催日】 2023年8月2日(水)
- 【会場】 青山学院大学 相模原キャンパス (相模原市中央区淵野辺 5-10-1)
<https://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/sagamihara.html>
- 【趣旨】 機械のおもしろさ、ものづくりの楽しさを味わっていただくため、小中学生工作教室を企画した。製作した模型エンジンは、JAXA で開発され、お湯を入れたコップの上でも動作するもので、夏休みの自由研究に活用できるものである。
- 【時間】 午前の部 10.30～12.00, 午後の部 13.30～15.00
- 【定員】 各部 20名 (小学3年生～中学生) 先着順
- 【参加費】 無料
- 【経費】 工作キット代 (1,100円×12個) 13,200円
学生アルバイト代 (4,400円×1名, 5,500円×2名) 15,400円
お弁当代 (1199円×5名+消費税8%) 6,475円
お茶代 (503円+消費税8%) 543円
- 計 35,618円
- 【参加者】 午前の部: 4名 (保護者を含む合計 7名)
午後の部: 4名 (保護者を含む合計 9名)

【工作教室の様子】



【あともぎ】

お盆休み前の平日開催であったためか、参加者が非常に少なかった。今後はより慎重な開催日の検討が必要かも知れない。ただし、参加者が少なく目の届きやすい状況となったことで、例年だと見過ごしてしまうような工作キットの僅かな初期不良(缶とシリンダーの直交に少しだけズレがあった)にも対応でき、全員が動き続けるエンジンを製作できた。本工作教室で使用しているスターリングエンジンキットの場合、以前より初期不良が問題視されているが、この工作教室の参加者の満足度において、

スターリングエンジンが実際に動くかどうかは非常に重要である。このため、今後も、このような僅かな初期不良を見逃さないようにするべきであると感じられた。また、同僚の保護者の方からの質問等もあり、参加人数以外は充実した教室となった。

以 上

(一社)日本機械学会関東支部神奈川ブロック
「小中学生工作教室」
～スターリングエンジンの製作～
第2回 実施報告書

【企画】 (主催) (一社)日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック
(共催) (公財)川崎市産業振興財団

【開催日】 2023年8月6日(日)

【会場】 川崎市産業振興会館 12階会議室
(〒212-0013 川崎市幸区堀川町 66-20)

<https://www.kawasaki-net.ne.jp/access.html>

【趣旨】 機械のおもしろさ、ものづくりの楽しさを味わっていただくために、小中学生工作教室を企画した。製作した模型エンジンは、JAXA で開発され、お湯を入れたコップの上でも動作可能で、小中学生の夏休みの自由研究にも活用可能である。

【時間】 午前の部 10:30～12:00, 午後の部 13:30～15:00

【定員】 各部 20名 (小学3年生～中学生)

【参加費】 無料

【経費】 工作キット代 (1,100円×31個) 34,100円
学生アルバイト代 (5,500円×4名) 22,000円
お弁当およびお茶代 (1,000円×9個) 9,000円

計 65,100円

【参加者】 午前の部: 19名 (保護者を含む合計 38名)
午後の部: 8名 (保護者を含む合計 16名)

【工作教室の様子】



※参加者全員が一度はエンジンを動かすことができ、笑顔で帰ることができた。

以上

(一社)日本機械学会関東支部神奈川ブロック
「小中学生工作教室」
～スターリングエンジンの製作～
第3回 実施報告書

- 【企画】 (主催) (一社)日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック
- 【開催日】 2023年8月9日(水)
- 【会場】 関東学院大学 金沢八景キャンパス (横浜市金沢区六浦東1-50-1)
<https://univ.kanto-gakuin.ac.jp/about-university/campus-facilities/campus.html>
- 【趣旨】 機械のおもしろさ、ものづくりの楽しさを味わっていただくため、小中学生工作教室を企画した。製作した模型エンジンは、JAXAで開発され、お湯を入れたコップの上でも動作可能で、小中学生の夏休みの自由研究にも活用できるものである。
- 【時間】 午前の部 10:30～12:00, 午後の部 13:30～15:00
- 【定員】 各部 20名 (小学3年生～中学生)
- 【参加費】 無料
- 【経費】 工作キット代 (1,100円×17個) 18,700円
学生アルバイト代 (5,500円×3名) 16,500円
お弁当代 (900円×6個) 5,400円
お茶代 (408円+8%消費税) 440円

計 41,040円

- 【参加者】 午前の部： 6名 (保護者を含む合計 11名)
午後の部： 8名 (保護者を含む合計 14名)

【工作教室の様子】



※参加者全員が一度はエンジンを動かすことができ、笑顔で帰ることができた。

以上

第 27 回神奈川フォーラム
「宇宙ビジネスを支える最新技術の動向」
実施報告書

【企画】 (主催) (一社)日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック
 (共催) 神奈川県立産業技術総合研究所
 (後援) 神奈川産業振興センター
 (後援) 神奈川 R&D 推進協議会

【開催日】 2023年8月8日(火)

【時間】 13:30～17:00

【会場】 神奈川県立産業技術総合研究所 海老名本部 (海老名市下今泉 705-1)

【趣旨】 宇宙ビジネスは多くの可能性を秘めており、その定義はロケットや人工衛星の開発に留まらず、それらを活用したものも含まれている。例えば人工衛星から送られてくる衛星測位システムをはじめとした様々な情報は生活の利便性向上に多大なる影響をあたえており、ドローンの有効活用など日々多くのアイデアが創出され実現化に向けて開発が行われている。そこで神奈川フォーラムでは、宇宙ビジネスに関連する最近の動向や研究、事例について理解を深める。

【プログラム】

8月8日(火) 13:30～17:00			
ご挨拶 神奈川ブロック長 麓 耕二(青山学院大学)			
	時間	講演テーマ	大学、会社名及び講演者
1	13:35～14:00	衛星測位システム活用事例	宇宙システム開発利用推進機構 浅里様
2	14:05～14:30	本格的な月面活動を見据えた月面科学シナリオ	JAXA 森治先生
3	14:35～15:00	宇宙機器開発と熱構造解析	テクノソルバ 中村様
*** 休憩 (15:00～15:15) ***			
4	15:15～15:40	宇宙機器開発とサプライチェーン	オービタルエンジニアリング 山口様
5	15:45～16:10	宇宙ビジネスを加速させる宇宙民生用情報通信エネルギー伝送技術によるオールワイヤレス化超小型衛星システム	スペース&モバイルワイヤレステクノロジー 川崎様
6	16:15～16:40	KISTEC における企業支援ならびに事業化支援に関する取組み	神奈川県立産業技術総合研究所 守谷様, 佐々様
総合討論 20分 (16:40～17:00)			

【参加人数】 33名

【会場の様子】



【会計報告】

項目	費用	備考
講演料（交通費含む）	48,330円	9,666円×5人
講演料源泉徴収	5,495円	1,099円×5人
アルバイト料	4,400円	1,100円×4時間×1名
その他	3,750円	資料印刷代
合計	61,975円	

【総括】

コロナ対策が緩和され、久しぶりに集合形式での神奈川フォーラムとなったが、多くの参加者に参加頂き無事に開催することができた。今回は産官学各方面の方々から、宇宙ビジネスというキーワードとして様々な切り口から最新の研究や商品開発についてご講演頂いた。総合討論では宇宙ビジネスについて難しさや教育に対する課題など様々な議論がなされ、各参加者には有意義な意見交換の場となったと考える。

以上

日本機械学会関東支部・神奈川ブロック主催 2023 年度学生会企画 「日産自動車横浜工場見学会および技術講演会」実施報告書

これから進路決定を迎える学生むけに、企業における製造および研究開発の現場を知る機会を設ける場を提供するために企画致しました。実施内容について、下記のとおり報告致します。

記

1. **開催日** : 2022 年 9 月 7 日 (木) 13:45 ~ 17:00

2. **会場** : 日産自動車 横浜工場 ゲストホール (神奈川県横浜市神奈川区宝町 2)

3. **参加者** : 17 名

【内訳】

学生 14 名 (大学院生 8 名, 学部生 6 名)

神奈川ブロック幹事会メンバー 3 名

4. 当日のタイムテーブル

13:30 より受付開始。その後、ゲストホール内にあるエンジンミュージアムなどを各自自由に見学させていただいた。

【1】 開会のあいさつ / 13:45~14:00

日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック長 青山学院大学 麓 耕二

【2】 日産自動車横浜工場 見学と技術紹介 / 14:00~16:00

【3】 技術講演「自動車とモノづくりの将来」 / 16:15~16:45

日産自動車 (株) 総合研究所 エキスパートリーダー 南部 俊和

【4】 閉会のあいさつ / 16:45~17:00

5. イベントの様子

日産自動車横浜工場のゲストホールでは、日産自動車の歴史、エンジンの技術開発史を網羅したエンジンミュージアム、エンジン・モーター技術展示、クルマやエンジンのできる様子などを見ることができました。

工場見学では、世界初の量産化に成功した可変圧縮比エンジン「VC ターボエンジン」の生産ラインを間近で案内いただきました。また、日産を代表するスポーツカーGT-R や急速な普及が期待される電気自動車の駆動用モーターなど最先端のパワートレイン技術についてご紹介いただきました。

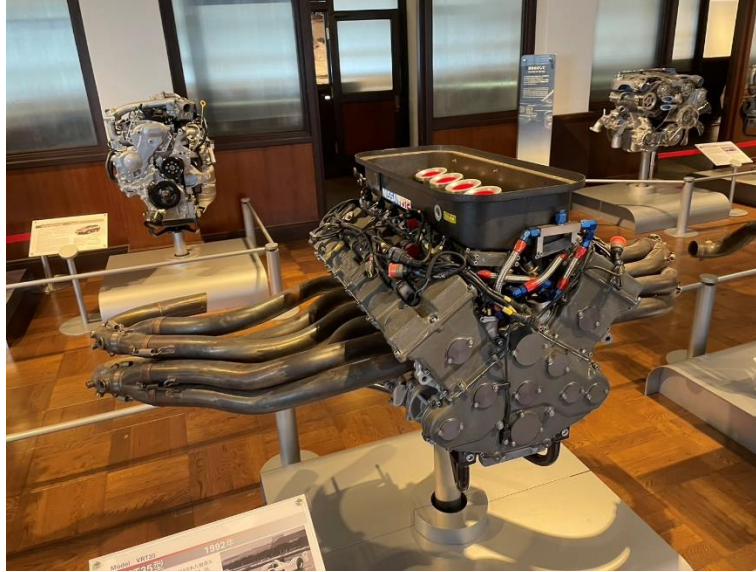
後半は「自動車とモノづくりの将来」と題し、社会と自動車の未来に関してご講演いただきました。参加者の学生の方々から質疑応答が大変活発になされました。



参加者集合写真



技術講演「自動車とモノづくりの将来」



エンジンミュージアム（自由見学にて）

6. まとめ

コロナ禍にて、中止やオンライン開催（バーチャル見学会）にて行われてきた学生企画ですが、数年ぶりに現地開催が叶い、大変うれしく思います。昨年度も同所（日産自動車横浜工場 様）に大変ご尽力を頂き、バーチャルにて見学を企画しました。全国各地から気軽に参加できるというバーチャルならではの良さもありましたが、今年度は現地で、実際に温度やにおい、音や振動などを体感することができ、学生さんたちは大いに刺激を受けていたように思います。後半の講演会においては大変活発な質疑があり、キャリア形成の面においても大いに刺激を受けていたようでした。

最後に、本企画において工場見学のご対応を頂きました日産自動車横浜工場様に厚く御礼申し上げます。また、大変魅力的なご講演をいただきました南部委員に謝意を表します。

以上

2023年11月17日

第30期ブロック表彰

技術賞

株式会社アサイ・エンジニアリング

(受賞理由：ロボットおよび精密機械における総合ソリューション技術)

功績賞

由井明紀 神奈川大学工学部機械工学科 教授

楠山純平 神奈川大学工学部機械工学科 助教

加藤英晃 東海大学工学部動力機械工学科 准教授

(受賞理由：長年にわたり神奈川ブロックの運営に貢献をされたことによる)

学生貢献賞

黒田純平 東海大学大学院総合理工学研究科 博士課程1年

小林一景 東海大学大学院工学研究科 博士前期課程2年

(受賞理由：神奈川ブロックの運営および行事の企画に於いて貢献をされたことによる)

特別功績賞

河西正彦 イースタン技研株式会社 元会長

(受賞理由：長年にわたり神奈川ブロックの運営に多大な貢献をされたことによる)

30周年記念特別貢献賞

荒木拓人 横浜国立大学大学院工学研究院 教授

大貫雅和 関東学院大学理工学部理工学科 助手

石上玄也 慶應義塾大学理工学部機械工学科 准教授

(受賞理由：神奈川ブロック幹事として本ブロックの運営に貢献されたことによる)

感謝状

日産自動車株式会社

(贈呈理由：学生会企画における見学会場提供および講演会の開催)

地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所

(贈呈理由：神奈川フォーラムにおける会場提供)

公益財団法人 川崎市産業振興財団

(贈呈理由：小中学生工作教室の会場提供)

2022 年度 日本機械学会 神奈川ブロック

学業優良奨励賞

学 校 名	氏名	卒業式日程
県立川崎工科高等学校	渡邊 穂	3月1日
県立向の岡工業高等学校	市瀬 敬裕	3月3日
県立神奈川工業高等学校	米田 空翔	3月2日
	林 智也	3月2日
県立磯子工業高等学校	大谷 侑生	3月3日
県立商工高等学校	泉水 佑斗	3月1日
県立横須賀工業高等学校	蕪城 蓮	3月2日
県立藤沢工科高等学校	飯田 駿介	3月2日
県立神奈川総合産業高等学校	大塩 泰雅	3月17日
	伊藤 壮汰	3月17日
県立平塚工科高等学校	鎌田 夢良	3月1日
県立小田原城北工業高等学校	小野寺 悠介	3月3日
	山田 明衣城	3月3日
市立川崎総合科学高等学校	仲間 崇雅	3月4日
	青木 翔太	3月2日
三浦学苑高等学校	田中 翔彩	3月3日
県立海洋科学高等学校	中山 花菜	3月1日
横須賀市立横須賀総合高等学校	山本 漣	3月1日
	鈴木 愛花	3月1日